

令和3年7月20日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL(0854)43-2130



E-mail: daito-c@hotaru.yoitoko.jp
http://user.yoitoko.jp/daito-c/

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会

地域への愛着や誇りが持てる
「雲南プライド」
の醸成を目指して

石飛雲南市長 就任6ヶ月



市長と大東町地域自主組織連絡協議会との意見交換会

6月28日 大東地域交流センター

市長に要望書を改めて提出しました



石飛市長は市長就任早々「広く市民の声に耳を傾けながら是々非々の姿勢で市政を運営する」との方針により各地で開催される「まちづくり懇談会」に出かけておられます。その一環として6月29日に大東地域交流センターで開催した大東町地域自主組織連絡協議会との意見交換会に出席いただきました。冒頭、市長から「まちづくりの基本は地域自主組織であり、市民が主役のまちづくりが基本と考えています」との挨拶のあと、順次各地域自主組織から提出される要望を受けていただきました。

大東地区からは、これまで要望書として提出した案件のうち、特に緊急性の高い次の3点について改めて要望書を提出しました。

1. 今年度新たに災害時指定避難所となった大東地域交流センターに調理室を増設してください。
(回答：検討を進めているので今少し時間をいた

だきたい。)

2. 今年度解体予定である旧大東町役場の跡地及び悠々広場を地域の拠点として有効整備してください。(回答：基本はバス停としているが、広場部分も含め意見を聞いて対処したい。)
3. 新庄地内の主要地方道松江木次線に歩道を整備してください。(回答：県から急を要する部分について着手すると聞いている。引き続き早期実現に取り組みたい。)

以上が大東地区から提出した要望および市長からの回答でした。特に旧大東町役場の跡地及び悠々広場の整備については、これまでも交通ターミナルや災害時の避難所等に配慮した整備内容を要望していますが、今後さらに具体的内容にしていく必要があります。

また他の地区からは「災害避難所となる旧小学校の修繕対応」「分譲住宅地の更なる造成」「河津桜やコウノトリを活用したまちづくり」「地域自主組織の活動拠点である交流センターの改築」「生活幹線道路の維持管理」「老朽化している桃源郷の整備」など日頃からの懸案事項について改善要望が出されました。これに対し、市長から「更に皆さんと相談しながら順次進めていくとともに、関係機関にしっかりと伝えていきたい。」などの発言がありました。

あいさつ運動大東推進協議会

大きな声を出すとエアロゾルが！などと言われますが、コロナ禍に押しつぶされない社会づくりのためにも、お互いのあいさつは大切です。本会では、街頭にのぼり旗を設置すると同時に、全家庭にミニポスターを配布しました。町ですれ違う人同士が、あいさつを交わし合うことが増えるように思います。

子どもたちも意識して取り組んでいるようです。大東小6年生は、地域の人との、また下学年のモデルになるあいさつを、リーダーとして心がけているようです。自分からすすんであいさつすることで気持ちよさを、また、されることでうれしさを感じるとメッセージを寄せてくれました。

子どもたちに負けず、大人同士のあいさつの声も一層聞こえてくるようにご協力をお願いします。



玄関に貼られた啓発ポスター





パトリ 掲示板

Photo bulletin board



今年も七夕行列、子ども花火が中止
でも、しっかり来年につなげていきます
★高橋七夕保存会長より6年生に七夕写真集をプレゼント
★北町西瓜提灯づくりの会指導による2年生のすいかちょうちんづくり



今年も遊び心あふれる明るい農村
新庄南・佐々木さん水田の案山子と花菖蒲



いつでも、どこでも、誰とでも！
老若男女問わず楽しめる人気のペタンク
地区体協ペタンク大会優勝に続き、町老連ペタンク大会でも優勝・準優勝・2位グループ優勝した上町ペタンクチーム



北町北寿会では素朴でやさしい地域の伝統食「笹巻き」づくり
子どもと一緒に400本作りました。

あいあい募金

ご寄付に感謝致します

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。

- ・大東町(西町) 小山 良二様(香典返し)
- ・大東町(田中上) 山本 礼子様(香典返し)
- ・大東町(南本町) 岩田 紀雄様(香典返し)
- ・大東町(中町) 田中 清様(香典返し)
- ・大東町(新庄西) 福間 義雄様(香典返し)
- ・主要地方道松江木次線(新庄南地内)
交通安全対策整備促進委員会様(一般寄付)

大東地区振興あいあい募金運営委員会 (TEL: 43-2130)

■令和3年6月末現在の人口・世帯数【()内は対前々月比】

項目	雲南市	大東町	大東地区
総人口	36,696人 (-100人)	11,719人 (-31人)	3,457人 (-5人)
男性	17,707人 (-44人)	5,715人 (-10人)	1,669人 (-1人)
女性	18,989人 (-56人)	6,004人 (-21人)	1,788人 (-4人)
世帯数	13,697世帯 (-8世帯)	4,146世帯 (-5世帯)	1,271世帯 (-2世帯)
高齢化率	39.75% (+0.04%)	39.53% (+0.11%)	—

資料：雲南市HPより

雲南市立大東小学校5年生

総合的な学習の紹介

自分たちの地域を元気にしようプロジェクト



大好きな大東のまち

地域の魅力をもっと知って自分たちにできることを考えよう。

皆さん、こんにちは。大東小学校5年生28名です。学校の学習には、総合的な学習という内容があります。これは、自分たちで課題を見つけて、自分たちで調べたり、考えたりして、課題を解決していく大切さを学ぶ学習です。私たち5年生は、4年生までに大東の名産お茶や、ヤマタノオロチ伝説、赤川ほたるなどについて、地域の方に教えていただきながら学んできました。大東には良いところがたくさんあることは知っていました。

1

地域の現状を知る

町の様子をじっくり見てみよう

2

地域の課題を分析整理する

お家の方や地域の方のお話を聞こう

3

地域の良さを生かす

4コマストーリーで自分の考えを表そう



登下校での町の様子
いつも何気なく見ている
町の様子じっくり見ました。

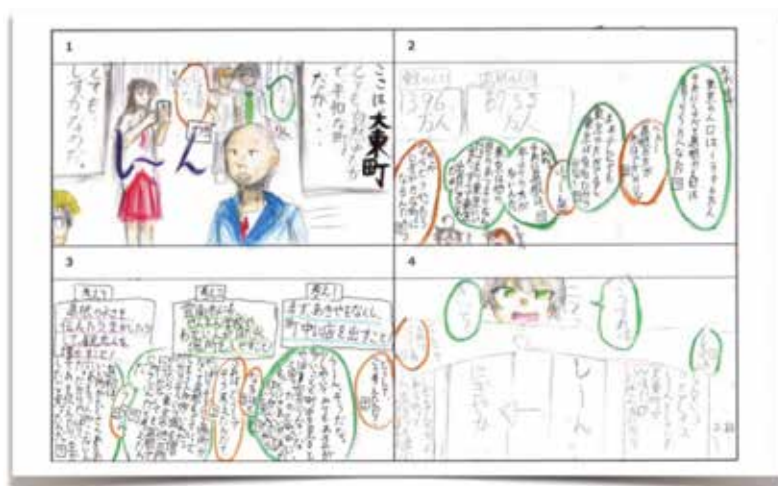


安部さんのお話
地域のことをよくご存知の
安部さんのお話を聞きました。

安部さんのお話は
こちらから



でも、もう少し町を元気にしたいと思いました。私たちに何かできることはないか、今、仲間と話し合っています。大東地区自治振興協議会の安部さんには、大東の町の良さやこれから何を取り組んでいけば、元気な町になるのかお話をうかがうことができました。安部さんからは、今、取り組もうとしているのはあいさつ運動だということをお聞きしました。ちょっと、意



外でした。確かにお家の方に大東の良さを聞いた時にも、「人が親切」「誰にでもあいさつをする」と教えていただいていた。大きなショッピングセンターやイベントをすればいいのかなあと考えていましたが、もっと身近なところに、町を元気にするヒントがありました。人気のラーメン屋さんに来てもらう、町のキャラクターをYouTubeで広める、お茶風味のホタルクッキーを作って特産品

にする・・・。アイデアはつきませんが、何か私たちの手で実際にできないかなあと考えています。新型コロナウイルス感染症のために、なかなか直接町の皆さんにお会いすることが難しい日々ですが、もし、私たちがお聞きしたらいろいろ教えてください。

心合わせて

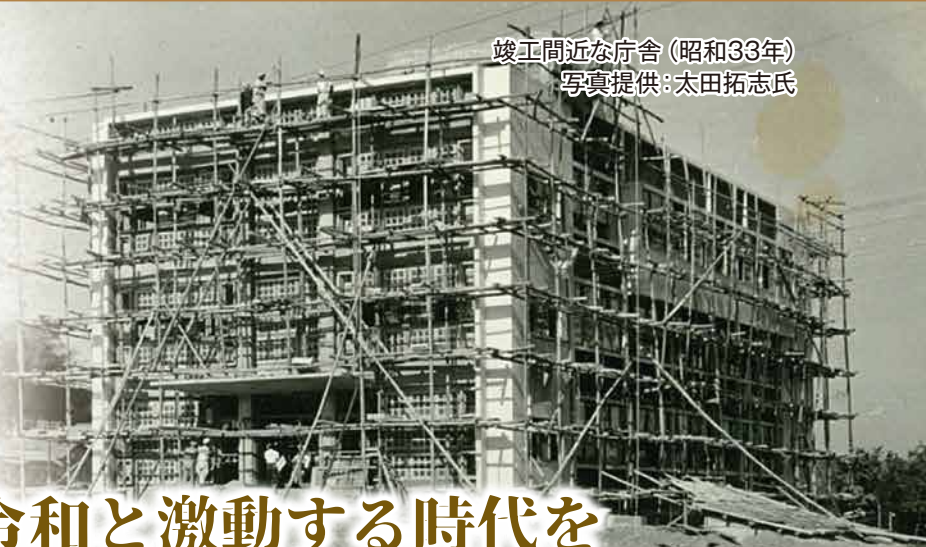
合奏を通して、ひとつのことをやり遂げる大変さや楽しさを学んでいます。お家の方や先生方にたくさん応援してもらいながら、曲を完成させることができました。下記のQRコードを読み取ってもらうと、YouTubeで限定公開の動画を見ることができます。





庁舎建設前の様子
(昭和13年頃 丸子山から撮影)

写真提供: 横山武志氏



竣工間近な庁舎(昭和33年)
写真提供: 太田拓志氏

昭和、平成、令和と激動する時代を 地域と共に歩んできた大東町役場庁舎 いよいよ63年の歴史は静かに幕を閉じます。



写真提供: 塩野紀富氏

議場にて役場職員採用試験(48名受験)
(昭和34年1月26日)



写真提供: 安原重隆氏

大東町9月定例会(昭和40年)

私の人生と共に

海潮地区 薦沢 塩野 紀富

大東町は昭和26年の第一次町村合併に続いて、昭和31年に旧海潮村と合併しました。県下でも二番目に大きい町(人口21,677人)となり、高橋英夫町長のもと、新しいまちづくりが着々と進められました。旧役場事務所は分散し、また狭隘でもあったので、新庁舎建設に向けて準備が急ピッチで進められ、昭和32年10月26日起工、昭和33年7月29日竣工となりました。新庁舎の見学会が8月7日に設けられ、私は当時町内に安定した仕事に就く希望もあり、中に入ってみました。庁舎は他市町にない大きな鉄筋コンクリート四階建てで、正に行政の中心拠点となる建物と感じました。広々としたカウンターや町民が利用しやすい事務室など、新しい行政サービスが提供できる造りに目を奪われました。そして、役場新築記念として取り組まれた大東町民歌(八雲の山の朝雲をうつして清い…)、大東小唄(めぐる山並み霞に明けりゃ…)が翌年34年1月の成人式でお披露目となり、後々広く町民に親しまれ愛唱される歌となりました。(小生もこの年に成人を迎え出席しました)

また同じく1月に役場職員の採用試験があり、大東町で初めて行われる地方公務員試験に私も応募しました。第二次試験の作文では「明るい大東町」が出題されました。幸い合格採用となり、私が初めて勤務する職場

は実に環境が良く、快適に勤めが出来たと今更ながらに思い出しています。そして間もなく大東町は相次ぐ豪雨、豪雪災害に見舞われ、事務事業も多岐にわたり増大することとなり、庁舎外への分散が余儀なくされました。

ここで特筆すべきこととして、体育文化センターが昭和40年に建設されるまでは役場四階会議室が結婚式場に活用されたことが挙げられます。新様式の結婚式が何組も挙行され、小生も昭和39年に新たな人生のスタートをここで切らせてもらいました。

またもう一つのこととして、新庁舎建設年度から財政再建計画が始まる厳しい財政状況でしたが、日本経済が急成長する頃でもあり、5年後の昭和38年度には公債費8千万円すべてを完済することができました。(参考・昭和38年度当初予算額は1億2千3百万円)

この度の旧大東町役場解体は、大東町にとってはまた一段と寂しさを覚えますが、何卒雲南市の三分の一を占める大東町の益々の発展をひたすら願ってやみません。小生にとって尽きることのない思い出と感謝の気持ちが走馬灯のように流れ、計り知れぬ感慨深さを感じております。

- ㊦ れに会っても
- ㊧ いばかり
- ㊨ きのすぎたが
- ㊩ そのよう

誰の作か不明ですが、応接室の色紙額が印象に残っております。

全国からの お便り



メンソール (いらっしゃい)



すはこ
津波古 悦子
(旧姓:岩田)
南本町出身

はじめまして！結婚を機に居を沖縄に移し43年になります。初めて上空機内から沖縄を見た時、その美しさに息をのみました。そして、それまでの車は右、人は左という交通ルールが改正された年でした。また、那覇から中部方面に向かうと、英語の看板がとても多く、義母がひめゆり学徒隊の生存者だったこともあり、さすがにのんびり者の私もここはかつての戦場であったこと、復帰数十年も経っているのにアメリカ領地だった頃の影響が色濃く残っていることを感じました。それでもおらかな沖縄の人々に支えられ今まで過ごすことができました。

戦後、奇跡の1マイルといわれた那覇のメインストリート「国際通り」は、昨年からの新型コロナの影響で閉店する店が多く閑散としています。沖縄はまだまだ感染者が多く、予断を許さない状態です。私も年に1.2度大東に帰省していましたが、それも叶いません。帰省時に必ず会っていた友とは手紙、ラインでやりとりしています。高齢

で難聴の大東の母と東京に住む孫達にも会えないので絵を描き、文章を添えた絵ハガキを定期的に出しています。今はスマホでフェースタイムなどもできますが、孫達も意外にも喜んでくれているようです。

この地で仕事も得、開業医看護師として20数年勤め、3人の子どものも育てました。人生の大半を過ごした沖縄ですが、子どもの頃の思い出は本当に鮮やかです。友から「まるこやま」と聞いただけで懐かしさがこみ上げられます。

沖縄はいいところです。早く新型コロナが収まって、心からの笑顔で「メンソール (いらっしゃい)」と皆様を迎えられる日が一日も早く来ることを願っています。皆様お元気で……



自作の七夕絵ハガキ

にがおえで こんにちは！

10年ぶりの全国大会

大東高校ソフトボール部 外部指導者
武田 豊



(絵:大東町東町北 細田 滋)

高校生のあこがれのひとつであるインターハイ出場が10年ぶりに決まった。昨年も島根県で優勝したが、コロナのために全国へは行けなかった。部員わずか13人でインターハイに出場するのはおそらく全国でも大東高校ぐらいだろう。大東高校ソフトボール部が過去に12回全国へと進んだけれど、これほど少ないことは初めてのことである。3年生が引退すると8人になり、新人戦のチームが組めない現実が待っている。近年の少子化に加え、日焼けや厳しい運動を嫌う傾向の波にのまれているのだ。

さて、今回の全国大会への切符を手にしたチームを紹介すると、3年生が5人、2年生が5人、1年生が3人である。チームの柱である投手は各学年に1人を指名し、投球練習をしている。試合

になると、投手といえども内野外野手も兼ねるので、両方の練習内容になり負担は大きい。その分やりがいのあるポジションでもある。このチームには飛び抜けた力を持つ者がいないため、頻りに話し合いをし、足りないところを自分たちで補い合う努力を重ねてきた。走り込み、バット振りは言うまでもない。何より試合を想定し練習をする。打者が出塁すると、次の打者は進塁打を心掛ける。当たり前のようでこれが本番になるとなかなかできないものである。皆で日々やってきた成果が出たように思う。部員一丸となって目標に向かって頑張った13人を労ってやりたい。特に3年生には頑張る姿を見せてもらった。

ひとつの結果を出したことで、大東高校でソフトボールをやってみようかという小中学生が増え、学校はもちろんソフトボール部の存続、そして地域の活性化につながればと地元の一人として願うところである。



白寿を迎えて感謝

織部 長谷川 恒子



真っ青な空に入道雲が沸き上がる盛夏の季節になりましたが、皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、私こと このたび白寿を迎えることができました。おかげさまで健康にも恵まれ毎日元気に過ごしております。これもひとえに豊かな心で温かく接して下さった職場の皆様やご近所の皆様のおかげであり、ありがたく感謝申し上げます。

私の日々は畠仕事と手芸が楽しみで、今は古典てまりを作りながらかつての皆様との交流を思い浮かべ、返り来ぬ日々を懐かしんでおります。

最後になりましたが、大東地区の益々のご発展と皆様のご多幸をお祈りいたします。



飛び交う赤川ほたるを表現した古典てまり



なかしま みつえ
中島 光恵さん (西本町自治会)



この人に聞く

昭和27年4月、大東にあった准看護婦養成所に入学、2年後雲南病院に看護婦として就職、以来約70年間この大東を住み家とし、結婚、子育て、仕事と獅子奮迅の毎日でここまで頑張ってきた中島光恵さんのお話を伺いました。

Q 幼少時代を戦中～戦後と大変な時期を過ごされました。

小学生時代は大戦の真最中、そして終戦、物の無い時代を過ごしました。我儘は許されず、ただひたすら我慢・辛抱の時代でした。そのおかげで今の自分があると思います。

今の時代は、何でもすぐ手に入る便利な時代になりましたが辛抱できない子どもも増えた気がします。「苦労は買ってでもしなさい。」良い言葉だと思います。

Q 約40年間の看護婦(師)人生を終え、新たな人生がスタートしましたが……?

当分は、役場を退職した人や看護婦仲間たちとバレーボール等楽しんでいましたが、いつまでも遊んでばかりはおられないと、何か「助け合い」のような活動が出来ないものかと仲間たちと考えました。その頃、平田市の熊谷さんの講演に刺激され、将来必ず必要になるであろう「流石!元看護婦としての介護・看護の勉強を始めました。今のデイサービスの走りみたいなモンです。 血が騒いだんですね」

最初は、Kさんのお宅の1室を借りてデイサービスを始めましたが大東ではじめてのNPOを立ち上げる話が持ち上がり多くの方の協力も得て「ほっと大東」が設立されました。看護婦としての体験・経験が活かされる職場であり良かったです。

設立当時から勤務しましたが70歳で定年退職。その後、ありがたいことに大東地区自治振興協議会の福祉推進員や大東地域交流センター会場申し込み等の受付業務を紹介され現在に至っています。高齢になりましたが、今でも皆さんに助けられ受付業務は続けています。

何よりもパソコンが扱えるようになったことがここまで勤められている要因のひとつですね。人生の転機にもなりました。「人間歳をとっても諦めたらいけません。」 大変重みのあることばです。今でも職場の重鎮として存在感抜群ですよ。

Q 地元の自主組織でもご活躍ですが、そのお話もお願いします。

大東地区女性振興会の一員(副会長)として災害時に備え町で色々なイベントが開催されるのに併せ炊き出しをやったり、大東地区福祉委員会の事務局としても困っている人の心の支えになろうと微力ながらお手伝いもしています。何でも皆さんの協力があることです。

また、社会福祉協議会の評議委員をしていた関係で多方面から 色々な組織の中心的な立場で後進の指導や後継者の育成にも尽力されています。 沢山の情報を頂き仕事をするのに大変助かりました。雲南市の条例作成にも幾分携わりました。

いろいろお話を伺いましたが、前向きな内容が多く人生勉強になりました。民生・児童委員を9年間勤め上げた「思いやり」と「行動力」には頭が下がります。料理は勿論、趣味のペタンク、グラウンドゴルフも楽しめます。「元気が一番!」「取り敢えず頑張ってみーだわ。」その言葉を信じて頑張ってみーことにします。(記、西村 武)